

在宅医療のお話

まごころ病院 院長 及川雄悦



3つの医療

- 外来での医療
- 入院での医療
- 在宅での医療

医師 → 訪問診療
看護師 → 訪問看護
薬剤師 → 訪問服薬指導
理学療法士 → 訪問リハビリ
栄養士 → 訪問栄養指導

在宅医療

134人 区別の訪問数

平成27年2月24日



訪問診療 週7便 往診* 随時

	月	火	水	木	金
午前		○	○	○	○
午後	○	○	○		

内科医5人、外科医1人、計6人で対応



1 脳卒中

脳梗塞
脳出血
くも膜下出血



いわゆる寝たきり状態

契約書を交わし訪問診療開始

訪問診療： 計画的な医療
往診： 急な変化に対応

寝たきり肺炎
栄養の問題 胃瘻をする??
どんどん増える各種施設へ...

寝たきりの患者さんに必要なもの

- ▶在宅医療
 - ▶福祉系サービス
 - ▶経済的・制度的サービス
 - ▶その他
-

寝たきり肺炎

- 元気がない、食欲が低下
- 発熱, 咳, 痰-----全くないことが多い!

誤嚥性肺炎 --- ムセがないことも多い

2 末期がん

70's歳 女性

お盆明けに体が痒いので近医で相談したところ、大病院を紹介された。簡単な検査のあと、末期の胆管癌で認知症もあり治療不能と診断され、まごころ病院で在宅医療を受けるようにと紹介された。

すでに、認知症がありデイサービス、ショートステイは利用中だった。

今後1~2か月で: 黄疸進行-食欲低下-衰弱-死亡

訪問診療開始

患者宅でケア会議: 家族、ケアマネジャー、DS, SS、医師、看護師

訪問看護、追加



3 神経難病

▶ 60's 男性

いわゆる神経難病。数年の経過で寝たきり状態となった。胃瘻造設はしない・人工呼吸器はつけないという方針で訪問診療の依頼。まもなく肺炎合併し入院。肺炎は治癒したが、痰が多く、経口摂取困難となった。意思表示はかろうじて可能。

予想より早い展開！！ 胃瘻、呼吸器はどうする??

訪問リハ・訪問看護・訪問診療
訪問入浴・デイサービス
おらかな妻の介護

ケア会議
ケア会議

御臨終の様子・・・

情報共有の仕方---取捨選択

まごころ病院 医師6人

看護師

他事業者

4 神経難病 人工呼吸器編

70's 女性

4年前、ALSによる寝たきり、胃瘻造設、人工呼吸器装着状態で訪問診療の依頼を受けた。夫と二人暮らし。訪問看護が週に二回。夫が献身的に介護をしている。年に何回かレスパイト入院(胆沢病院、水沢病院、まごころ病院)を利用している。会話はできないが、最低限のコミュニケーションは可能

訪問診療 週二回 ----気管カニューレの交換

訪問看護

レスパイト入院

かさむ材料費
長期戦！

26年11月末頃 午前11:30分ごろ、突然呼吸困難を訴え救急車を要請
救急隊はまごころ病院に連絡。

施設での挑戦的な取り組み

- 終末期
 - 医療依存度の高いケース
-

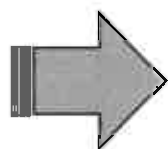
終末期

認知症末期、老衰

食事摂取不良

胃瘻などは希望しない

自宅での介護は困難



特養・GHでの看取り



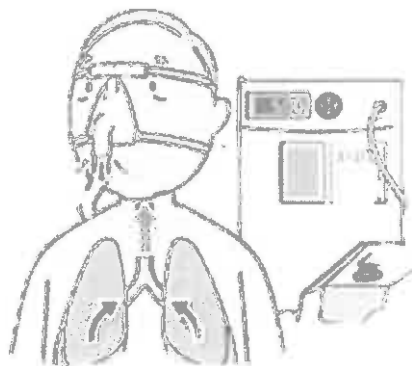
まごころ病院

医療依存度の高いケース 1

▶ 80's 男性

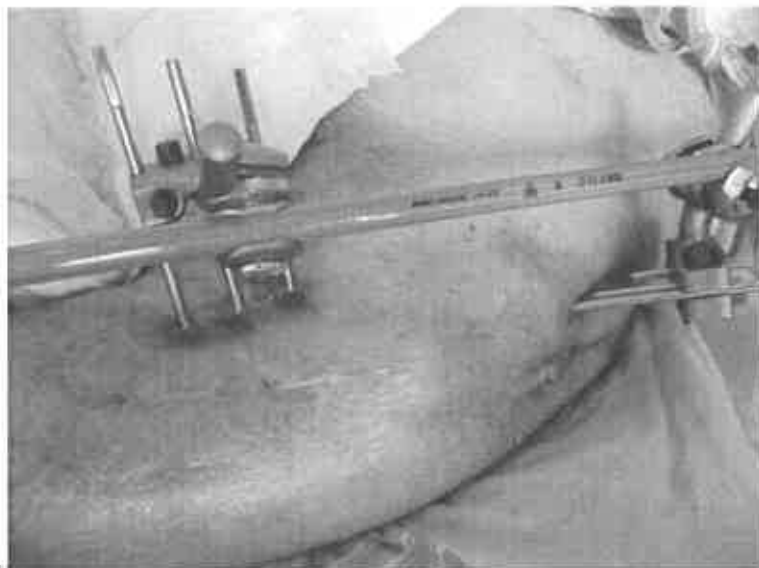
COPDによる慢性呼吸不全

NPPV



医療依存度の高いケース 2

- ▶ 90's 男性
左大腿骨転子化骨折術後
創外固定



胆沢病院

ゆたかの家っこ ~サービス付き高齢者住宅

まごころ病院